

大規模災害情報の収集・保存・活用方策に関する検討会の開催について

平成 27 年 1 月 6 日
内閣府政策統括官（防災担当）決定

1. 趣旨

災害に関する情報を幅広く収集し適確に保存していくことは、防災・減災対策の効果的な実施、防災に関する普及啓発及び連携の推進、迅速な災害復旧等を進める上で非常に重要である。

このため、平時、発災時、発災後の各場面において、様々な災害情報をいかに活用するか、そのための災害情報の収集及び保存方策はいかにあるべきか等災害情報の収集、保存及び活用の在り方について検討するとともに、大規模災害に関する情報を収集し保存する仕組み（大規模災害情報アーカイブス）に関する諸課題を検討するため、「大規模災害情報の収集・保存・活用方策に関する検討会」（以下「検討会」という。）を開催する。

2. 構成員

- （1）検討会は、別紙に掲げる有識者をもって構成し、内閣府政策統括官（防災担当）（以下「統括官」という。）が開催する。
- （2）統括官は、有識者の中から、検討会の座長及び副座長を依頼する。
- （3）座長は、必要に応じ、その他の関係者の出席を求めることができる。

3. 検討会の庶務

検討会の庶務は、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（調査・企画担当）において処理する。

4. その他

前各項に定めるもののほか、検討会の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

大規模災害情報の収集・保存・活用方策に関する検討会 構成員

- | | |
|-------|--|
| 今村 文彦 | 東北大学災害科学国際研究所所長 |
| 大原 美保 | 独立行政法人土木研究所
水災害・リスクマネジメント国際研究センター
水災害研究グループ主任研究員 |
| 尾崎 正直 | 高知県知事 |
| 高野 明彦 | 国立情報学研究所教授 |
| 御厨 貴 | 東京大学名誉教授
東京大学先端科学技術研究センター客員教授 |
| 目黒 公郎 | 東京大学生産技術研究所教授
都市基盤安全工学国際研究センター長 |
| 吉見 俊哉 | 東京大学副学長
東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授 |

【五十音順、敬称略、役職は平成27年1月6日現在】